

3 学 年 国 語

授業の受け方

- ① **しっかり聞く・考える**…先生の話や友達の意見をよく聞き、自分の意見を深めよう。特に物語や説明文では、登場人物の心情や筆者の意図を考えましょう。
- ② **ノートを工夫して書く**…ただ黒板を写すだけではなく、大切なポイントをまとめたり、気づいたこと、考えたことなどを書き込んだりして、後で復習しやすいノートを作りましょう。
- ③ **積極的に発言・質問する**…わからないことをそのままにせず、質問することが大切です。また、自分の意見を発表することで、理解が深まり、考える力も鍛えられます。

家庭学習のポイント

- ① **漢字練習・意味調べを丁寧に**…新しく習った漢字は、ただ書くだけではなく、意味や使い方も確認しましょう。また、教科書に出てくる言葉の意味を辞書で調べて、自分の言葉でまとめると理解が深まります。
- ② **ノートの見直し・整理をする**…授業で書いたノートを見返し、大切な部分に線を引いたり、書き足して整理しましょう。ポイントをまとめておくと、理解が深まり、テスト勉強に役立ちます。
- ③ **課題や宿題にしっかり取り組む**…課題や宿題は、授業の予習・復習としてとても大切です。一言で済ますのではなく、自分の考えや意見をきちんと書くことで、国語の力が身に付きます。

定期考査に向けた取り組み方

- ① **プリントやノートを見直す**…授業で配られたプリントやノートには、大切なポイントが書かれています。特に、登場人物の心情や説明文の要点、流れなどは大切です。
- ② **漢字を確実に覚える**…漢字は覚えれば確実に点数に結びつきます。毎日コツコツ練習しましょう。教材があれば利用しましょう。何回も書いて覚えることが重要です。
- ③ **ワークをしっかり活用する**…ワークは一通り解きましょう。その際、記号問題も記述問題も、答えの確認だけでなく、どうしてその答えになるのか考えると実力を磨くことができます。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 …学年に応じた漢字・文法の知識、作品の理解、表現の技能を身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況
思考・判断・表現 …文章を深く考える力。文章の要点を把握し、自分の意見を表現する力。他と自分の意見を関連させて考える力。自分の意見を表現する力。それらが身に付いているか。	定期考査、小テスト、提出物の状況
主体的に学習に取り組む態度 …自分の考えをもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。学習の見通しをもち、工夫する姿勢と、振り返りを行い、学びを深めようとしているか。	定期考査、提出物の状況、授業態度の状況

3 学年 社 会

授業の受け方

- ① **先生の話をよく聞き、スライドをよく見よう。クイズは必ず参加しよう。**
社会は覚えることが多い教科ですが、理解することが覚えやすくする第一歩です。「なるほど!」、「そうなんだ」と思える瞬間を授業中に少しでも多く作りましょう。
- ② **ノートは自分のための参考書。ノート作りをこだわろう。課題は、まず自分で取り組む。**
〈考えよう〉〈資料を読み取ろう〉などの課題は、まずは書きましょう。最初から満点を目指す必要はありません。間違いを恐れず、みんなで意見をブラッシュアップする授業を作っていきます。
- ③ **多様な学習活動で、自分が活躍できる場面を作ろう。**
ノートをきれいにまとめる、意見を発表する、わかりやすいスライドを作る、わかりやすく説明する、班の話し合いをまとめる…自分が得意なところを見つけ、どんどん生かしましょう。

家庭学習のポイント

- ① 【興味を持つ】社会の授業に関することは、日々の生活の中でたくさんあります。歴史や地理の内容はテレビ番組、本、漫画など様々なメディアで扱われています。それらを利用して、興味が持てる分野を増やしましょう。公民はニュースを見ることがそのまま力になります。日々の生活の中で、自分が取り入れやすい時間帯にニュースを見る習慣をつけるとよいです。(朝、夕など)
- ② 【復習を大切に】予習は特に必要ありません。社会は、復習を重点的に行うとよい教科です。ノートを大切にしましょう。プリントのやり残しが残らないか確認し、早めに仕上げましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 【理解する】授業の内容を思い出しましょう。教科書やノートを見返して、学習した内容を再度確認し、分からないところはそのままにせず、自分で調べたり、先生や周りの人に聞くようにしましょう。
- ② 【整理する・覚える(インプット)】重要なところを整理したメモを自分で作成しましょう。ノートの余白を使ったり、レポート用紙などに書くとよいです。歴史なら年表、公民なら図や表にまとめるなど、見やすくまとめると覚えやすくなります。重要語句はまずは暗唱するとよいです。しかし、難解な漢字もあるので、必ず一度は書いて確認する(覚える)こともしましょう。
- ③ 【確認する(アウトプット)】ワークを繰り返しとしましょう。1回ではなく複数回やりましょう。3回目以降は間違えた問題だけにするなど、効率的に取り組むとよいでしょう。記述問題は、模範解答をそのまま覚えるのではなく、まずは自分の力で書きましょう。自分が書いた文章で合っているかわからないときは先生に聞きましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 歴史・公民で取り扱った内容を理解し、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	定期考査の状況 小テストの状況
思考・判断・表現 歴史・公民における課題の解決に向けて、思考・判断したことを説明したり、議論する力を身に付けているか。	定期考査の状況 探究課題の状況 授業中の取り組み状況
主体的に学習に取り組む態度 より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとしているか。	定期考査の状況・探究課題や提出物の状況 授業中の取り組み状況 定期考査の振り返りレポートの状況

3 学年 数 学

授業の受け方

- ① 教科書・ノート・ファイル・問題集が基本の4点セットです。忘れ物がないように必ず準備をしておきましょう。また、定規やコンパスを使用する場合があります。
- ② 発表時や班学習では、他の生徒の意見を聞き、自分の考えの参考にしましょう。また、いろいろな人の意見を取り入れ、自分なりの考え方を見つけていきましょう。
- ③ 時間のある時には、問題集を進めたり、他の人と学び合い、授業の時間を有効に活用しましょう。

家庭学習のポイント

- ① 授業のあった日は、教科書・ノートを見て授業の内容を確認しましょう。
- ② 時間に余裕のある日は問題集を進め、間違えた問題を繰り返し復習しましょう。間違えた問題こそ重要です。
- ③ 問題集が解き終わったら、もう一度解いてみましょう。計算のスピードを上げたい人は、計算練習に取り組みましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 問題集に何度も取り組みましょう。問題集でわからなかった問題は必ず先生や友達に聞きましょう。ぜひ質問教室を活用してください。
- ② 計算練習をたくさんしましょう。計算力を上げることで、思考・判断・表現の問題に多くの時間を使えるようになります。
- ③ 余裕がある場合は授業中に扱ったプリントをもう一度もらうなどしてみましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 数学的な基礎的な概念や原理・法則を既習事項と関連付けて理解し、問題発見・解決の過程を自立的に遂行できる技能が身についているか。	定期考査の状況 小テストの状況
思考・判断・表現 論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力が身についているか。	定期考査の状況 小テストの状況 レポートの内容
主体的に学習に取り組む態度 数学的な活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしているか	小テストの状況 レポートへの取り組み 授業・問題集の取り組みの状況

3 学年 理 科

授業の受け方

- ① 授業を通して、ノートを取り方を工夫しましょう。
学習を進めていく中で、自分が興味をもち大事だと思った内容を整理してメモしましょう。
- ② 自ら課題を見つけ、仮説を立てて学習に取り組みましょう。
課題発見→予想→検証という思考の流れは、他教科にも応用できます。積極的に課題を見つけて考える習慣を身に付けましょう。

家庭学習のポイント

- ① 家庭学習では、復習に力を入れましょう。
理科で学習する分野は非常に幅広いです。はじめて学習する単元では、予習してもよくわからないことが多いです。これまで学んだことを関連づけながら繰り返し学習すると理解が進みます。
- ② 教科書やノートを活用しましょう。
教科書では、単元ごとの学習内容が記述されています。ノートでは、自分が学習して身に付いた内容がまとめられています。ノートだけで足りない内容、教科書では分かりにくかった表現を見比べることで、自分の学習状況が整理されてきます。

定期考査に向けた取り組み方

- ① ワークなど、練習問題を繰り返し取り組みましょう。
ワークや教科書に載っている問題と、定期考査で出題される問題は似たパターンが多いです。繰り返し学び、パターンに慣れましょう。
- ② 単語の暗記ではなく、実験の考察を導き出すまでの流れを復習しましょう。
理科の問題は、仮説をもとに実験を行い、結果をもとにした出題が多いです。単語を答える問題もありますが、その単語の意味や、実験結果からわかることを答えられるようになりましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 自然に関する原理・法則などを理解し、観察・実験などに関する技能を身に付けているか。	定期テストの状況 小テスト、単元テストの状況 パフォーマンステストの状況
思考・判断・表現 自ら問題を見だし見通しをもって観察・実験などを行い、探究して表現できるか。	ノートの記載内容 ワークシートの記載内容 定期テストの状況
主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。	ノートの記載内容 ワークシートの記載内容 定期テストの状況

3 学年 音 楽

授業の受け方

- ① 音楽の授業の基本は、「聴く」ことです。音楽に耳を傾け「聴く」、先生の話真剣に「聴く」ことです。そこから音楽の深い世界に入っていきましょう。
- ② プリントの記入は、自分なりによく考えて、丁寧に記入しましょう。
- ③ 歌うときには表現の意図をもち、恥ずかしがらずに自分なりの表現を心がけましょう。
- ④ 持ち物は、教科書、コーラスフェスティバル、ファイル、筆記用具の4点セットです。プリントはファイルに確実に保管しておきましょう。

家庭学習のポイント

- ① ジャンルを問わずいろいろな曲を聴いて心を耕してください。
折に触れ「知覚」と「感受」を関連付けた聴き方をしてみてください。
- ② 楽器を習っている人は、たくさん練習をして上達してください。
- ③ 音楽は“心”で感じるものです。心を耕すために、読書や映画、絵画など質の高い芸術に親しましましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 定期考査は学期ごとに1回ずつ、年間で3回行います。また、実技テスト（歌のテスト）を原則学期に1回行います。
- ② 授業で扱ったプリントを、教科書や楽譜（コーラスフェスティバル）と照らし合わせて復習してください。
- ③ 定期テストと日頃の授業の取り組み（プリントや実技テスト）を5：5で評価します。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 曲想や音楽の構造、背景などとの関りを理解する。 音楽表現を創意工夫したり音楽の良さを味わって聴く能力を身に付けているか。 音楽表現を生み出すための発声や発音などの技能を身に付けているか。	日頃のプリントの記入内容 定期考査の状況 実技テストの状況
思考・判断・表現 音楽を形づくる要素を知覚し特徴や雰囲気を感じ取り、曲の表現を工夫し自分の考えをもっているか。 音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で表現しているか。	日頃のプリントの記入内容 定期考査の状況
主体的に学習に取り組む態度 音楽や音楽文化に親しめるよう、音楽活動を楽しんで取り組んでいる。音楽活動に粘り強く取り組み、自己調整しながらより良い音楽を求めているか。	日頃のプリントの記入内容 授業への取り組み状況

3 学年 美 術

授業の受け方

- ① **先生が全体に話す時は前を向いて顔を上げ、静かに話を聞きましょう。**
美術の授業は制作がメインですが、話を聞いていないと何をやるのかわからなくなってしまいます。制作中であれば一度手を止めて、しっかりと話を聞きましょう。
- ② **不必要な立ち歩きはしない。**
教室の前後に貸し出し用の用具を準備しています。それらを取りに行ったり、水を取り替えに行ったりすること以外で席を離れる場合は、必ず先生に声をかけてください。
- ③ **丁寧な制作を心掛ける。一生懸命取り組む。完成させる。**
美術の能力の一部は授業中に制作を積み重ねていくことで確実に向上します。また、素早く作業を終えれば良いというわけではありません。丁寧に、全力で取り組みましょう。

家庭学習のポイント

- ① **視野を広げましょう。**
美術館へ行く、画集を読む、映画を観る、音楽を聴く、読書をする、新聞を読む等、知識を身に付け視野を広げることを何かしらしてください。発想の幅が広がります。

定期考査に向けた取り組み方

- ① **定期考査は、観点 1 (100)、観点 2 (100) の 200 点中 50 点分として扱います。**
制作だけではなく、試験の点数もしっかり取れるよう勉強してください。また、『漢字で書きなさい』という問題が出る場合もあります。テスト範囲の内容は漢字まで覚えるようにしてください。
- ② **描く課題が出る場合もあります。**
知・技を問う問題であれば、テスト前に自分でもう一度やり方を確認し、最低 1 回は描いてみてください。思・判・表を問う問題は視野を広く持つことが大切です。『家庭学習のポイント』をヒントにし、日々、発想力を高めておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroomでの課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
思考・判断・表現 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりすることができるようにする。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroomでの課題を含む 定期考査の状況、授業中の取組状況
主体的に学習に取り組む態度 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	完成作品の状態、 その他、ワークシート・振り返り等、提出物の記載内容 ※classroomでの課題を含む 授業中の取組状況

3 学年 保健体育

授業の受け方

① 声と身体を大きく使い、基礎体力と運動技能を高めましょう

毎時間行うウォーミングアップ（集団走・体操・補強）で基礎体力をつけ、様々な運動種目の技能を高めることで、運動やスポーツを本気で楽しめるようにします。

② 仲間とたくさん話し合い、アドバイスし合いましょう

どの運動種目においても、仲間と協力することがとても大切です。身に付けた知識をもとに互いの運動を観察し、意見を出し合い、深めていきます。

③ 授業をしっかりと振り返って記述しましょう

ねらいに対して、自分や仲間の取り組みはどうだったかを振り返って学習カードに書くことで、自分の考えをまとめていきます。具体的に記述することが大切です。

家庭学習のポイント

① 休日に出かけるときの移動手段は徒歩や自転車を選ぶ、エレベーターではなく階段を使うなど、「生活を運動化」「運動を生活化」する工夫をしましょう。

② テレビやインターネットの中継などで、各世代のトップレベルのスポーツを観戦しましょう。授業で行うことの延長であることがわかると、知識が深まります。

定期考査に向けた取り組み方

① 「中学体育実技」をよく読み、各運動種目の歴史や文化、特性を確認しておいてください。

② 各運動種目のルールについては、授業中のゲーム内の取り組みと併せて、「中学体育実技」に記載されている公式ルールや正式名称も確認しておいてください。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 運動の楽しさや喜びを味わい、その必要性を理解し、基本的な技能を身に付けているか	授業中の取り組み状況 単元テストの状況 実技チェックの状況
思考・判断・表現 自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝える力を身に付けているか	授業中の取り組み状況 学習カードの記載内容
主体的に学習に取り組む態度 公正に取り組む、互いに協力し、自己の責任を果たしたり参画したりしようとしているか	授業中の取り組み状況 自律的に健康を管理している状況

3 学年 技 術

授業の受け方

① 「安全が第一優先」を心がける。

木工室・金工室にはたくさんの機械や工具が置いてあります。正しい使い方をすれば便利なものですが、使い方を誤ると大きな事故や怪我につながります。とにかく安全を最優先に授業を受けるようにする。

② 授業中の私語はつつしむ。

教室と違い、向かい合わせの机で授業を受けます。となりや向かいの人との距離がとても近い環境です。授業に関係のないおしゃべり等で、周りに迷惑をかけないようにする。ただし、作業時は、仲間とコミュニケーションをとりながらの授業を可とします。

③ 時間を守る

基本、毎回工室が金工室で授業を行います。教室移動となるので、チャイムが鳴った時には必ず自席に座っていることを心がける。

家庭学習のポイント

① 特に家庭学習を行う必要はありません。

ものづくりや電気の知識また情報を扱い方等、学習した内容を家庭生活に生かしていきましょう。長期休業時に出題される課題は、必ず自分の力で行ってください。

定期考査に向けた取り組み方

① 授業で説明した内容が試験範囲となります。試験前にノートや配布されたプリントを中心に復習しておく。作業についての問題も出題されることもあります。③

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 情報の通信の仕組みや安全に利用するための情報モラルを理解できているか。ものづくりで自分の使用目的にあった作品を製作できているか。	・ 定期考査の状況 ・ 授業中の取組状況 ・ ノートの記載内容 ・ 作品の完成度
思考・判断・表現 自分の工夫やアイデアを取り入れた作品を製作し、製作の過程や結果の評価・改善について考えているか。また、環境条件を考えて栽培の過程や結果の評価・改善について考えているか。	・ 定期考査の状況 ・ 作品に対する工夫やアイデアの状況 ・ 授業中の取組状況 ・ ワークシートの記載内容
主体的に学習に取り組む態度 主体的に技術に関する知識技能を身につけ、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために、意欲的に授業に取り組んでいる。	・ 定期考査の状況 ・ 授業中の取組状況 ・ ノートの記載内容 ・ 作品の完成度

3 学 年 家 庭

授業の受け方

- ① 通常の持ち物は教科書とノートです。準備して着席しましょう。
- ② 学習内容をしっかりノートや配布プリントに記入し、日常生活で実践することを念頭に入れて学んでいきましょう。
- ③ 授業は常に誠実に取り組み、質問や発表を積極的にしていきましょう。

家庭学習のポイント

- ① 宿題が出たときは忘れずに。また、提出日を守りましょう。
- ② 教室や調理室で学んだことを家庭で実践してみて、知識・技能を確かなものにしていきましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 教科書、ノート、プリントを復習し理解して、大事なところは覚えておきましょう。
- ② 調理や製作実習がテスト範囲の場合、調理・製作方法やその過程をよく理解しておきましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 衣食住生活などの機能について理解し、生活の自立に必要な知識・技能が身に付いているか。	定期テストの状況
思考・判断・表現 生活の自立に必要な知識・技能を習得し、考察して的確に表現する力が身に付いているか。	ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 定期テストの状況、授業中の取り組み状況
主体的に学習に取り組む態度 製作や調理などの活動の楽しさを実感して懸命に取り組む、生活に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返り、評価・改善しようとしていたりしているか。	実習の反省レポートの記載内容、 ノートの記載内容、配布プリントの記載内容 授業中の取り組み状況 作品と提出状況

3 学年 英 語

授業の受け方

- ① 指示された授業道具を忘れずに持ってきてきましょう。教科書、ノート、ワーク、ファイル、タブレットといろいろな道具を使います。タブレットは充電しておきましょう。
- ② 英語の発音やコミュニケーション活動、発表活動、パフォーマンス等に、積極的に取り組みましょう。授業は「聞く」のではなく、「参加」することが大事です。
- ③ 授業用ノートの予習、ワークでの復習、プリントの問題などの家庭学習をすることで授業の理解が進みます。

家庭学習のポイント

- ① 宿題をやりましょう（授業用ノートに予習、ワークで復習など）。
- ② デジタル教科書を使い、教科書の音読をしましょう。（1 ページ最低一回→ESAT-Jにつながります。）
- ③ 習った単語や文は、とにかく覚えましょう。言えるようになったら、書けるようにしましょう。

定期考査に向けた取り組み方

- ① 教科書の単語、文など聞いたり読んだりしてわかるように練習しましょう。デジタル教科書、ワークのデジタルコンテンツを活用しましょう。
- ② ワークを繰り返しやりましょう。ワーク本体に書きこまず、付属ノートを使用して複数回取り組みましょう。
- ③ 習った単語や文を使い、自主学习ノートに書いて練習しましょう。英文はいきなりかけるようにはなりません。繰り返し練習しましょう。

評価・評定について

観点について	評価の方法について
知識・技能 文法や語彙などを理解し、コミュニケーションで活用できる基礎的な技能を身に付けているか。	定期考査の状況 小テストの状況、web テストの状況、プリント記載内容など
思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、自分の考えなどを的確に表現したり伝え合う力を身に付けているか。	定期考査の状況 授業での活動状況 パフォーマンステストの状況 英作文記載内容など
主体的に学習に取り組む態度 主体的にコミュニケーションを図ろうとするため、粘り強く取り組み、自分で過程を振り返ったり、振り返って評価・改善しようとしていたりしているか。	単語テスト点数の状況、振り返りカード記載内容、授業用ノートなどの記載内容、パフォーマンステストの状況、授業での取り組み状況など